

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (甲信越)		一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・今年は何年になく猛暑が続いたので、夏物のエアコン、冷蔵庫等が非常によく出ており、それにつられて一般商材等の動きも良くなっている。
		遊園地（職員）	来客数の動き	・入場料金の変更や、タイアップイベントなどの集客施策実施により、3か月前と比べて来客数は増加している。
		スーパー（経営者）	販売量の動き	・来客数が、前年比で5月104%、6月101%、7月109%、8月101%と前年を上回っている。売上も5月から115%、92%、81%と推移しており、8月は23日時点で115%、その後大型イベントがあったため、120%ぐらいになりそうである。県の中小企業融資制度を受け、借換えをすることができ、返済金額が減ったので、消費税支払積立てをしていきたい。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・今月は日本全国で、台風、豪雨の被害があったが、当地域は北アルプスの影響が、被害を免れて、非常に幸運な8月である。気温も比較的高温続きで、清涼飲料水、アイスクリーム、ビールなどの夏の商材がよく出ている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・5～6月が余り良くなく、そこから多少は上向いている。暑かったため、ビールがよく出ている。宴会は余り増えなかったが、人通りは多くあり、ピヤガーデン等に客が流れたのかもしれない。まあまあ良い状況である。
		観光型ホテル（支配人）	来客数の動き	・今月は最盛期でもあり、避暑での旅行者で来客数は好調に推移している。
		都市型ホテル（支配人）	競争相手の様子	・宿泊問合せの客から、「どこのホテルも満室と言われた」、「何故、こんなにホテルが取れないのか」等々の声を頻りに聞く。また、インターネットで他のホテルの料金を調べると、かなり値上げしている。駅の観光案内所からの宿泊問合せも大変多い。
		都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・以前よりは回復してきているものの、原材料高騰に伴って販売単価を値上げしての回復である。値上げにより単価、売上は上がったが、利用人員は前年比で確実に減少している。しかし、数か月前から回復傾向にあるので、この先に期待の持てる状況ではある。
		ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・団塊世代前後の健康への消費意欲が旺盛である。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・美容室も猛暑のせいで、日中は高齢者は余り出てこないが、若い女性は美容院に涼みにやってきて、カットしている客が増えている。固定客のある美容院は来店頻度が短くなっているため、少しずつ良くなっている。
		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・問合せが非常に多くなってきて、20日過ぎからは特に増えている。資料を送ってほしいという問合せが多い。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・今月良かったのは、お盆休みが過ぎて、新学期を迎えるということで、新しく買換えなどがあったためである。毎年のことだが、今年も例年同様かなり商品が動いている。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・猛暑、熱中症騒ぎもあり、今までにないエアコンの注文、取付工事があった。相変わらず、必要な物を消費する行動パターンなので、一時的に売上増となっても、長続きはせず、暑さが落ち着けば、売上減は免れない。
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・猛暑の影響で飲料等の夏物商材の売上が増えている。雨や台風被害もなく、来客数も安定している。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・猛暑で飲料、氷等の商品の販売が急増しているため、やや良い。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・暑さが続いたお陰で、冷たい物だけだが、売上の下支えをしてもらった形で、以前の売上に到達できている。現状維持である。
	家電量販店（店長）	来客数の動き	・前年の来客数と比べて、改善していない。単価についても同様である。	
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・先進技術搭載車や軽自動車の販売が堅調で、新車販売の前年超えが続いている。	
	乗用車販売店（経営者）	単価の動き	・一般乗用車でも1,000～1,300CCの排気量の小さい車が多く売れるようになり、売上、利益共に減少傾向にある。	

	一般レストラン (経営者)	販売量の動き	・暑い天候が影響している。
	観光型旅館(経営者)	販売量の動き	・今年の夏は前年のデスティネーションキャンペーンや一昨年の大河ドラマのようなイベントもなく、個人客の入込が今一つ伸びない。また、学生の合宿などの団体も、年々規模が小さくなっている。
	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・営業しているビヤガーデンは、月前半は好天に恵まれ、前年比10%増の来客数があったものの、お盆過ぎに天候が崩れ、逆に、マイナス10%となっている。
	旅行代理店(副支店長)	お客様の様子	・国内旅行需要に変わりはないが、平成30年7月豪雨災害や風評、猛暑によるキャンセルが多くみられる。景気の低迷とまではいかないが、キャンセルや日程変更等で、秋の受注に影響が出そうである。海外旅行は、大きなテロなどが発生していないこともあり、受注は順調である。
	タクシー運転手	販売量の動き	・21時以降の客の動きが悪いので、運転手が嫌がって帰ってしまう。客がいないわけではないものの、動きが止まってしまう状態である。
	住宅販売会社 (従業員)	来客数の動き	・今月は猛暑のため来荘数は増加したものの、販売成約には結び付いていない。
	商店街(代表者)	来客数の動き	・不要な外出は控えましょうという警報が頻発されるほどの暑さに、街中の人影はほとんどなく、開店休業の日々である。夏のパーゲンもぱっとしない。
	商店街(代表者)	お客様の様子	・全体的には猛暑の影響で、昼間の来客数が激減し、大変苦労している。しかし、全国的なイベントがあり、待ち直している。
	コンビニ(エリア担当)	単価の動き	・人口は減少の一途である。購買増につながる好材料は、女性の社会進出による、家事の簡便化のためのスーパー、コンビニへのニーズの高まりが挙げられるが、社会全体がそうした動きに敏感なわけではない。また、現状ではそうしたニーズの構成比も決して大きいわけではない。したがって、総じて減少傾向で、来客数そのものの減少、購買点数の減少が顕著となっている。
	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・今月は車検、一般整備共に目標を下回り、車両販売も低迷している。
	自動車備品販売店 (経営者)	来客数の動き	・新車販売数の動きが鈍くなり、アフターマーケットへの影響も大きい。
	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・今月前半は来客数、単価共に順調だったが、後半以降は極端に落ちている。
	一般レストラン (経営者)	競争相手の様子	・地域の中には、以前ならはやっている店が多少なりともあったものだが、今は軒並み落ち込んでいる状態である。
	通信会社(経営者)	お客様の様子	・節約志向のためか、保留や解約が増え、新規契約は低調である。
	ゴルフ場(経営者)	それ以外	・災害ともいえる8月の暑さと台風の多さは、前月同様、シニア層の来場の多いゴルフ場では、著しい来場減となっている。
	設計事務所(経営者)	来客数の動き	・詳細設計を進める物件が少ない。
	x 衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・1週間のうち、客の来ない日が半分ほどある。
	x スナック(経営者)	来客数の動き	・来客数の動きと回答したが、競争相手の様子や、客の様子などからも言える。とにかく、良くなる要素が1つもない。
企業 動向 関連	-	-	-
(甲信越)	*	*	*
	食料品製造業 (営業統括)	受注量や販売量の動き	・原油価格の高騰や猛暑の影響等により、来場者数、売上共に減少し、前年実績を下回っている。
	食料品製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・販売量が上向かず、前期比でも計画を達成できていない。悪い状況が続くので、変わらない。
	窯業・土石製品 製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・特注品の受注などもほとんどなく、低迷している。
	一般機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・受注量は比較的安定しており、先行きにも大きな変動はない見込みである。
	電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・安定して仕事の確保はできているが、継続、長期の物はなかなかない。
	建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・猛暑の影響か、受注が停滞気味になっている。

	金融業（調査担当）	取引先の様子	・設備投資の需要増加に伴い、製造業の受注は引き続き高水準にある。非製造業は猛暑の影響で需要の増加した業種もあるが、建設業は受注に弱さがみられる。
	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・卸売業は同業者間の価格競争により、販売単価の下落から売上の減少がみられる。飲食店では、観光地周辺に立地し観光客を取り込んでいる店は、売上を不変、やや増加としているが、取り込めない店は平日の売上が伸び悩んでいる。観光関連宿泊施設は、外国人観光客の旅行が団体から個人に変わり、1部屋当たりの人員が減少しており、減少分を客単価の引上げで対応している。また、インバウンド需要により売上は好調を維持している。
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	取引先の様子	・猛暑の影響で、衣料問屋では夏物衣料の売物がなくなると話していた。また、スーパー銭湯では例年、大学生や高校生の夏合宿の利用でにぎわっていたものが、暑さで合宿が中止になるなどして激減し、百貨店でも来客数が減少したとのことである。
	食料品製造業（製造担当）	それ以外	・外的要因で、資材原価が上がってきているため、利益を出すのが厳しい。
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・ユーザー展では来場者は前年比5%減、売上は同20%以上減少している。暑さで客が出かけるのをためらったようだという小売店のコメントである。業者向け展示会ではカタログ用のサンプルを探しに来場する客もいたが、全体的に仕入意欲は低調である。ただし、主催者からは中国人バイヤーの来日で展示会自体の売上は前年並みと聞いている。
	x	*	*
雇用 関連 (甲信越)	-	-	-
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は増加しており、有効求人倍率も上昇に転じている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規学卒求人、高校生向けの求人募集に際し、初めて募集をかける事業所が1割以上ある。
	人材派遣会社（営業担当）	雇用形態の様子	・人が足りないと言っているが、採用条件は給与等変わらずに職業安定所にも提示している。採用されても1～2年ほどで再度派遣社員に戻る方がいたり、相談が増えている。実際に働き出すと、サービス残業等が多く、厳しい労働環境がそのままになっているようである。
	求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・建設業の受注は堅調に推移しているが、人手不足で大きな工事を予定どおり仕上げることに苦慮している。急募求人にも力を入れているが、苦戦している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人は、建設業、製造業、医療福祉業、サービス業、運輸業などで増加し、全体では前年同月比で6.4%の増加である。小口求人が中心で、新規開設等の大口求人はみられない。一方、新規求職は、離職者が減少し、在職求職者に増加傾向がみられるものの、全体では前年同月比で7.1%の減少となっている。
	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・パート、アルバイトの求人が増えている。
	-	-	-
	x	-	-